



## ライオンキング

舞台が「ゴミ捨て場」ということを聞いたとき、25Rの教室の現状にピッタリな劇ではないか！と思い、「キャッツ」がイイのかなあ～と思っていたら、これまたある意味25Rの教室を象徴するかのようなジャングル（本当はサバンナか）を舞台とする「ライオンキング」にとりあえず決まり、めでたい限りである。メイクをしなくても大丈夫そうなの？役者も大勢いることだし（失礼）、どうか25Rの「素材」と「実力」を結集して、日比谷での3年間のまとめにふさわしい舞台を創り上げてほしいものである。

ちなみに、私は四季劇場で本物の公演を見たことがある。ユニークな動物たちの衣装（というか仕掛け？）と、工夫のこらされた舞台装置が印象に残っている。特に、大きな太陽のオブジェが素晴らかった印象があるのだが、今はどうなっているのだろうか。YouTubeなどには、かなり予告編の画像などが公開されているので、それを見ながらイメージを膨らませるとともに、自分たちに出来る範囲の舞台装置としてはどのようなものが考えられるのか、また、衣装やメイクを自分たちならどう製作していくのか、そんなところの工夫を今から始めるとイイだろう。予算も、クラスで集める部分は、なるべく2000円程度に抑えたいものだと担任団では話し合っているので、持ち寄れるモノなどをうまく活用して無駄使いをしないように心掛けたり、買い物計画をシッカリ立てたりして、今から準備できるアドバンテージを生かして、予算削減に取り組もう。また、3年生として、省エネや縮ゴミなどの課題にも出来る範囲で配慮し

たいものである。

\*

演目を決める際、残念ながら25Rの候補作にはならなかったが、「レ・ミゼラブル」を推薦した●●くんは、歌の素晴らしさと世界史との関連に言及し、「キャッツ」を推薦した●●さんは、みんなが知っている有利さやストーリーの分かりやすさについて言及していた。候補作となった「ライオンキング」を推薦した●●くんは、ダンス部がない現状を踏まえて、劇の完成度が高められる可能性が高い作品として言及したし、●●さんは、自身が一年生の時に見て感動した経験を話してくれた。その上で、●●くんは、ダンス部の問題があるにせよ、それを乗り越えられる可能性に注目して発言したし、一方、●●くんは、そうはいってもその可能性の実現を引っ張る存在の重要性を確認した。どの意見も作品を選ぶ際に参考になったことだろう。

ぜひ、来年は、新たな一年生を感動させるような、そして、三年生になったら自分たちもあの劇をやってみたい！と感じさせるような、そんな舞台を創っていこう。

\*

と言っているそばから、後期中間考査が静かに忍び寄っている。ね、●●くん。こういう時、サッと意識を転換して、劇のことを考えている状態から、勉強に集中する体勢へと移行できるようになることが大切だ。三大行事の忙しさを通じて、日比谷生はそういう訓練もやっているのである。考査の時間割も発表になった。しっかり取り組もう。